

静岡市立大谷小学校



出前授業レポート



静岡県埋蔵文化財センター

令和8年7月7日(火)

静岡市立大谷小学校 の児童が、昔の人々の暮らしを体験することを目的に、
土器の分類体験 石器の試し切り体験 火起こし体験 を行いました。



土器の分類体験

縄文土器、弥生土器、須恵器の3種類の土器片を完形土器と見比べて分類する体験をしました。

<児童の感想>

- ◎時代によって土器の形や手触りが違うことが分かった。
- ◎新しい土器の須恵器を知ることができたから、この須恵器を社会の歴史の学習で活かすことができそうだと感じた。



石器の試し切り体験



黒曜石製の石器で紙や野菜を切る体験をしました。

<児童の感想>

- ◎縄文時代の土偶と黒曜石の知識を足して弥生時代や古墳時代との考え方を研究したい。
- ◎「どうして昔の人々は黒曜石を命がけで取りに行ったのか」ってところを考えたい！



火起こし体験



舞錐(まいぎり)法という方法で、火起こし体験をしました。

<児童の感想>

- ◎これから習う時代はどんな火おこしなのか、土器はどんなものなのか、黒曜石がどうやって包丁に進化していったのか。考える機会になった。
- ◎火起こしでは紐が外れたりして難しいんだなと思いました



<先生方の感想>

精選された活動と説明で、短い時間で充実した時間を過ごすことができました。説明にもメリハリがあり、真剣に聞きながら歴史について体験していこうという意識が素敵でした。準備も担当先生が進んで行ってくださり本当にありがたかったです。ありがとうございました。

